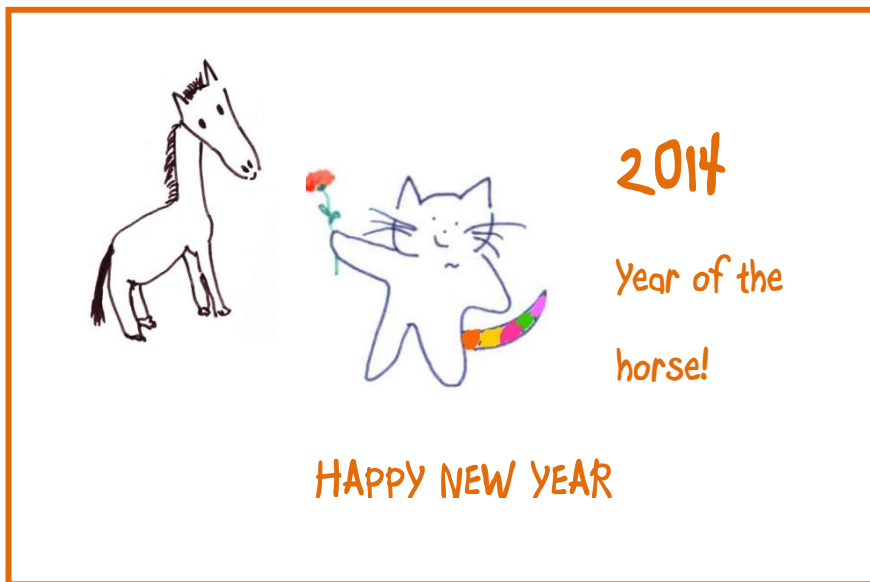




ポーポキの目標 2014年

今年のキーワード:「元気・genki」!

1. 『ポーポキ、平和って、なに色? ポーポキのピース・ブック 1』、『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』に次いで『ポーポキ、元気って、なに色? ポーポ木のピース・ブック 3』を発行します! (3月予定)
2. 非暴力で平和な世界の創造をめざし、ポーポキと一緒に積極的に行動します!
3. 新しい仲間をつくり、一緒に学び合い、行動し、そしてつながりをいっそう確かなものにします!
4. 被災地での活動を含めて、今までの出会いを大切にしながら新しい出会いの機会をつくり、活動を継続します!
5. 周りの状況(身近な暴力、健康と平和など)に関心を持ち、旅行や体験についてお互いに報告し合い、継続的にとりあげます!
6. 周囲の人にもよろこびを提供し、みんなで喜びを分かち合います!

本年もよろしくお願いします!





神戸の1月は寒い！ポーポキはあたたかい布団から出るのが辛い。
でも、ブーツ・マフラー・帽子・手袋で毎日元気にお出かけします！

Popoki's Hot News!



ポーポキの第3回目 ミニ平和映画祭！

2014. 2. 22！今年もポーポキのミニ平和映画祭を開催します。

テーマ:戦争を知る！基地を知る！知らない日本を知る！

映画を観て、お茶でも飲みながら話し合いませんか？詳しくは本号の12ページへ。

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちの ちかにゃん から届いた平和：

「いつも当たり前だと思って行動していることを、安心して続けられることに気づいた時、ほっとした気持ちになります。そして平和だなあと思う時は、明るく柔らかく心地よく、自分とその周りの人達が、安心して微笑むことができる時だと思います。災害や紛争はその『安心』を引き裂いてしまいます。19年目の1.17を迎え、平和を感じる人にもなりたいし、平和を支える人にもなりたい。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com)！



ポーポキのピース・ブック3！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色?』の出版準備をすすめています！3月に出る予定です。皆さまからのご注文をお待ちしています！



ぼくのFB頁ができました!!! ぜひ観てくださいね！

www.facebook.com/pages/Popoki-Peace-Projectポーポキピースプロジェクト/1384738958444817



いつもご協力、ありがとうございます！

『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』

(エピック 2012) はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいです！

*神戸 YMCA でも販売していますよ！ 本については、

<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。



ポーポキの2014年(予定)!

- 1 月 阪神・淡路大震災展に参加(神戸市)
- 2 月 ポーポキのミニ平和映画祭(神戸)
- 3 月 『ポーポキ、元気って、なに色?』発行
ポーポキ at 大槌町「11の会」(大槌)
ポーポキ at 国際学学会(ISA) (アメリカ)
- 4 月 しんにゃん歓迎ワークショップ(神戸)
- 5 月 ポーポキ at 畿央大学(奈良県)
- 6 月 ポーポキ at 灘チャレンジ(神戸)
- 7 月 ポーポキ at 子どもの里(大阪)
- 8 月 ポーポキの 8.6 シャドー&スカイプ(神戸)
ポーポキ at 国際理解教育・開発教育セミナー(神戸)
- 9 月 ポーポキ はどこにいくのかな?
- 10 月 ポーポキとろにゃんはピッツバーグへおでかけ!?!
- 11 月 ポーポキとろにゃんはグアムへおでかけ!?!
- 12 月 ポーポキとろにゃんはフィジーへおでかけ!?!

来年もよろしくお願いいたします!



阪神・淡路大震災を継承する

1995年1月17日に起こった阪神・淡路大震災。その記憶を今後のために活かしていくことがとても大切です。ポーポキは、1月11日に開催された「3. 11から1. 17へ～若者たちが語り合う震災と未来～」に参加しました。このイベントは、『加川広重 巨大絵画が繋ぐ東北と神戸2014』という一連のイベントの一つで、二つの巨大な絵画に囲まれて行なわれました。参加者の一人、北川和真が絵の感想を書いてくれました。(ろにゃん) 写真:林にゃん。

『雪に包まれる被災地』と『南三陸の黄金』をみて 北川和真

加川さんの絵には、宮城県南三陸町の防災庁舎という、津波にのまれてそこで人が亡くなった建物が描かれています。その建物をみることで、震災当時のことを思い出して辛いという人がいるので、取り壊しが検討されています。南三陸町の人たちの中には、絵に描かれている防災庁舎をみることで、震災当時を思い出して、辛い思いをする人がいるかもしれないのに、あえてこの建物を描いた加川さんの気持ちが僕にはわかりませんでした。



ところが、加川さんは、絵を描くとき、自分が防災庁舎を実際に見たときに感じた怖さをそのまま表現した絵にするか、それとも例えば、花や光など、なにかいいことが起こりそうな予感のさせるものを書き足した絵にするか悩んだと言っていました。結果加川さんは、防災庁舎を見たままの姿で描きました。それは彼曰くそのほうが南三陸町の人たちに対して誠実な気がしたということでした。



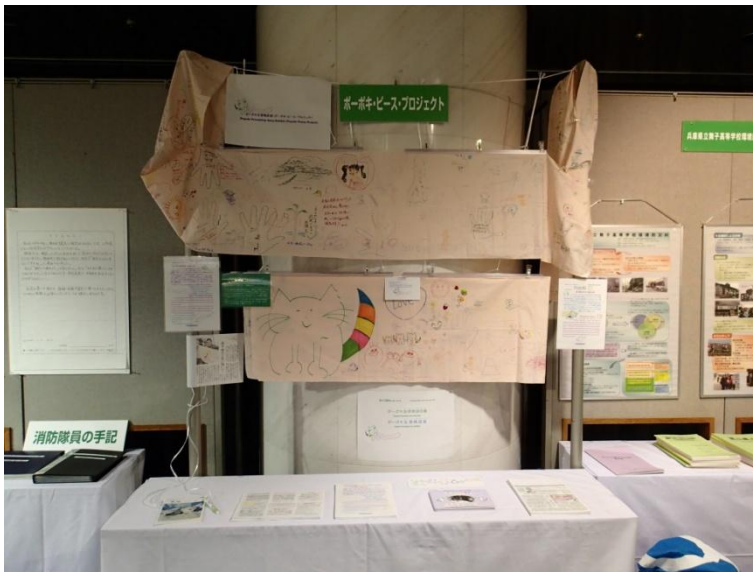
それをきいて、僕が文章を書く際に読み手に僕の考えが適切に伝わるかを考えて、何度も推敲しなおすのと同様、画家も自分の作品が作品の鑑賞者にどう伝わるかを考えて絵を描き、そして悩むのだとわかり、加川さんに親しみをおぼえました。

すると、加川さんが絵を描く際に感じた葛藤が絵の中に表れているのではないかと、絵をじっと見てみました。僕は、絵の中に加川さんの葛藤をみてとることはできませんでしたが、他の人

はこの絵をみてなにを考えているのかが知りたくなり、絵についての意見を交わしたくなりました。

1. 17の記憶を風化させない

神戸市役所 市民ギャラリーでポーポキが展示参加



1月14日から19日、神戸市役所の市民ギャラリーで1.17展が開催されました。ポーポキ友情物語は今年で2回目の参加です。貴重な機会をいただいたことに感謝します！

神戸市で開催された1. 17のつどい



神戸市役所24階からみた1.17のつどい会場



亡くなられた方々への想いをこめて・・・

2014.1.17

阪神淡路大震災の日・Memorial Day of the Great Hanshin Awaji Earthquake

あの日から19回目の今日。
The 19th time that day has come.



忘れられない、あの日のこと。
忘れてはいけない、あの日のこと。
時間が止まったのに、歴史が流れ続けている。
I can't forget that day.
We must not forget that day.
Time stopped, but history continues to flow on.



なぜ??? あの日も理由をさがした。
自然の力は創造も破壊ももたらす。けれど、恨みも憎しみも欲もない。
そこに学ぶべきことはなんだろう。
Why??? That day, too, we sought a reason.
Nature brings creation and destruction, but has no resentment, hatred or greed.
What can we learn from that?



あの日から19年。毎日を生きてきた自分をふりかえる。
そして、今日も知らない人と微笑みを交わそう。
It has been 19 years. I reflect on way I have lived each day.
And today, too, I will share a smile with someone I don't know.

Popoki Peace Project/ポーポキ・ピース・プロジェクト

<http://popoki.cruisejapan.com>

ronniandpopoki@gmail.com



* ポーポキのインタビュー *

☆大槌町の人たちと出会って☆

もりにゃん、有パンにゃん

2013年12月6日～8日にかけて、6人のにゃんで大槌に行ってきました。活動は、主に大槌町にあるショッピングセンター「マスト」で布の展示とワークショップを行うことでした。そして、大槌の「いま」をしっかり刻むために。

展示活動では、マストの空いている通路スペースに展示用パネルをおいて、それらに10枚ほどの布を掲示していききました。そして、おしゃべりしたり、新しい布に絵を描いてもらえたりするように、イスとテーブルで休憩できるスペースもつくりました。なかなか目立つ場所だったので、たくさんの買い物途中の人が展示を見てくれました。また、たくさんの子どもが布に絵を描いてくれ、席をなかなか離れようとしないう子も何人かいました。また、7日には近くの仮設商店街「復興きりり商店街」で創立2周年を記念したお祭りがあったので、ポーポキはケーキ屋シフォンさんの協力のもと、そこでもポーポキ友情物語の活動をしました。さらには、8日には紙芝居づくりを通して平和について考える、大槌町では初のワークショップを試みました。これに関しては、思ったように上手くできなかったのですが、次につながる良い経験ができました。

私、もりにゃんは、ポーポキ友情物語の活動に参加したのは初めてでした。それまで、布は描かれたものしか知りませんでしたが、布を見る大槌の人たちや大槌の人によって布に描かれていく様子を初めて知ることができました。見る人にも描く人にも、そこにはたくさんの笑顔がありました。展示した布は、まだ避難所の頃のものだったり、大変なときのものなのですが、それらの絵は、悲しいものではなく、見た人を笑顔にする力がありました。絵を見ながら、微笑みがこぼれる様子がとても印象的でした。

そして、ポーポキの活動でつながった多くの人たちとも出会いました。ポーポキの活動が「支援じゃない」というのをみなさんに会うことで身を持って感じました。なぜなら、みなさん大槌の町のために、自分のできることは何でもやる、という思いで動いているからです。それは、ポーポキで平和のために社会の一員として自分ができることをみんなと模索する様子と重なります。だから、私たちは「被災者—支援者」という関係ではもちろんなく、「ポーポキの仲間」という関係でつながっているのだな、と思いました。



マストの展示場では、布に絵を描く子どもたちやそのご家族のみなさんが立ち寄ってくれました。絵を描きながら、思いがけず、いろいろな会話が生まれるということもよくわかりました。「こんな絵もかけるんだ!」「リンゴが好きだったの?」という親子のやり取りや、「たくさんお父さんが遊んでくれる。」と話してくれる娘さん。いつもと違う場所と人とのお絵かきは、家庭の中ではしない会話が生まれます。こうした一つひとつを記録もしながら、活動の蓄積もしていきたいと思いました。

僕、有パンにゃんはこれまでも何度か、ポーポキの活動で大槌町に来たことがあったのですが、マストの店員の方に「あれ？その関西弁は…この前も来ていましたよね？」と言われたり、ポーポキのお友達の元持さん、伊藤さん、植田先生と再会したりと、なんとなく大槌町にも自分の居場所ができてきたみたいで、嬉しい気分を味わうことができました。しかし、一方でこの3日間は、大槌町をごく普通の1つの町として見るべきか、未だに被災地としてみるべきか、という点で何度も悩まされました。また、ポーポキ友情物語や紙芝居をどう使って、大槌町の人に平和について考えてもらうのがいいのか、まだまだ自分の中での課題はいっぱいです。



それでは、この12月の大槌町での活動についてはもう少しお伝えしていこうと思っていますので、次回を楽しみにして下さい☆



大槌速報！？！

今日、ろにゃんが大槌町の写真家、伊藤陽子さんにメールをしました。彼女は、街の中心部でかさ上げ作業が本格化し、通れなくなる寸前を記録するためにお出かけをしようとしたところでした。行ってみると、工事関係者以外、一般市民は伊藤さんひとりだったそうです。

伊藤さん、寒いのにありがとう。遠く離れている私たちには理解できないことが多いけど、応援しています。今度、その写真を見ながら、いろいろな話をしてください！

海外にいるポーポキの友達からの手紙

送り主：にしだかすみ

日本のみなさん、お元気ですか？本当に早いもので、私が博士留学のためにメルボルンに来て、もう半年が過ぎました。あまり近況報告ができず、ごめんね。今日のメルボルンは気温 25 度と過ごしやすいお天気です。先週までは毎日 40 度ごえで、人もねこもいぬもチョコレートもダルダルだったのに、土曜日たった1日で気温が 15 度下がりました！（不思議！）

私が、住む場所も決まらないまま、不安げにメルボルンに来たことを知っている人もいましたね（メルボルンは家賃がとて高く、学生はシェアハウスに住むのが一般的。でもシェアハウスは遠隔地からでは決められなかったため…）。ご心配をおかけしましたが、おかげさまでこちらに来て1ヶ月ほどで、素敵なお家を見つけました。今は大学からバスで 25 分くらいのところで、同世代の同居人 4 人といぬ1匹と一緒に暮らしています(^-^）シェアハウスはおもしろいです！目の行くところが違うみたい。住み心地の良い家と考えたときに、私は水回りの汚れや、シンクに溜まった食器とか、小さいものばかりに目が行くのに、私のハウスメイトは「庭にソファ置きたいね」「卓球台がほしいね」と大きなアレンジにばかりに目が行くの。（しかも大きいものを買うのに、ひとつのシェアハウスには1年くらいしか住まない！）。

いつも心のなかで、ちがいを探しのゲームをしています。

今日は、みなさんにもうひとつ、お友達の話をしたいと思います（研究の話は一旦置きましょう…また改めて、ご報告できる日が来るようにがんばります）。私はずっと尊敬してきた研究者の指導下で博士研究を行いたくてメルボルンへの留学を決意したのですが、なんと去年はこの先生が6年ぶりに教鞭を取ることに（彼にはクラスを教える義務がないため、この6年間は研究と論文指導のみだった）。この時点ですでに超ツイてる！のに、この「マルセル・モースと彼の影響」という講義シリーズのティーチング・アシスタントをしていたのが、はじめてのお友達、ナディヤ先輩でした。

マルセル・モースという人類学者は「ギフト/贈りもの」について研究をしたことで有名です。彼は、「人は贈りものを受け取ると、そのことを覚えていて、いつかお返しをしようとする。こうした贈りもののやり取り（互酬性）が、社会的な関係性になっていく」と説明しました。さて、ここで派生して問題になるのが「ファースト・ギフト」の問題です。つまり、誰かが先に贈りものをしないと、関係性がはじまらない。でも、どっちが？何を？どうやって？相手の反応が分からないファースト・ギフトには不安や緊張がいっぱい！そんななかで、ナディヤ先輩は私にとっていつも「ファースト・ギフト」をくれる人でした。はじめの週に、「あなたは何の研究をするの？」って話しかけてきてくれた。次の週に、勉強会に誘ってくれた。その次の週にはコーヒーに誘ってくれた。そして帰国前には（彼女も留

学生だったので、博士論文を提出して帰国してしまっただけですが）自転車を譲ってくれた。思い返せば、ナディヤがいつも先に贈りもの（ギフトは物じゃなくても、言葉でも、存在でも、優しさでも、何でも良い）をくれたから、私たちは友達になれました。

相手はどう反応するか分からないファースト・ギフトを差し出す勇気…ナディヤのことを考えたら私にも湧いてきそうな気がするし、わたしも誰かにあげたいな、と思う！（づー）
以上、メルボルンからでした！



同居のアイドル、モラさん。モラさんの存在も、私たちにとってのギフトだよ。

半年の韓国への留學を経て、感じた事の一部を書かせて頂く機会をポーポキにもらった事をありがたく思っている。一言で留學経験をまとめると、「ニュースやネットで知ったつもりになっていた国を、五感を使って改めて知った・感じた」ということである。留學経験によって自分の中で変わった、情報に対する態度について触れていきたい。

2013年8月から韓国へ留學する事が決まったと周囲に伝えたときに、戸惑ったように「なぜ韓国なのか?」「日本人だから危ないのではないか?」といった反応が返ってきた。半年が経った今でも、そうした反応は変わりない。2012年に李明博大統領の、日韓双方が領有権を主張する独島/竹島上陸というニュース以降、日本国内での状況は、いわゆる嫌韓という流れが顕著になってきているようだ。

出発する以前は、韓国に対して独特な不安を感じていたように思う。日本から来た自分に対して韓国の人たちはどのような反応をするのだろうかとか、留學自体に対する不安を差し引いても、韓国に行くことが無意識のうちに怖かったようだ。しかし、実際に韓国についてからは大半の時間が講義の準備や論文に消えていった、というか、勉強しなければ!と考えていると時計の針が何周もしていた。とはいえ、韓国人の友達も増え、その分だけ留學前より経験が増えて日韓関係に対する意識が少しずつクリアになっていった。

いくつか印象的な出来事もある。クラスメイトと初めて一緒に食事に行った時に韓国、中国、日本からの学生のグループで話をする事になった。そこで竹島/独島についての話になって「独島は韓国のものだ」と言われて、驚いた。ただ、始めに想像していたような敵意というものは感じなかった。また、ある講義の中では日本、韓国、中国からの学生が3カ国の関係について話をするという機会があった。それぞれ学生が自分の意見を述べていく貴重な機会、そこで改めて気がついた事がある。

それは、第2次世界大戦が終わって何十年かたっているけれど、まだ我々の世代の祖父の世代は戦争を経験して覚えているという事である。日本に対して恐怖や不安を直接感じた方達が身近にいて、日本が軍隊を持つ可能性や右傾化が韓国・中国にとって脅威である事は、納得がいった。ところで、そうした話をしていると、各国で得ている情報に差があるというか、情報に偏りがあるのではないかと感じる事が多くなっていた。

日本に帰ってきて韓国について話したり、ニュースを見た時に違和感を覚えるようになった。その違和感の原因の多くは、論の元となる情報の不確かさが気になってしまうようになったという事だ。例えば、日本人の中には今でも大規模なデモが韓国で起きているかもしれない...という心配をする人も居る。韓国でも日本について関東以東は放射能の影響が強く危険であるというニュースが大々的に流れていた。真偽は



専門家ではないのでハッキリ分からない。けれども、そうしたはっきりと分からない事が強い影響力を持っているようだ。

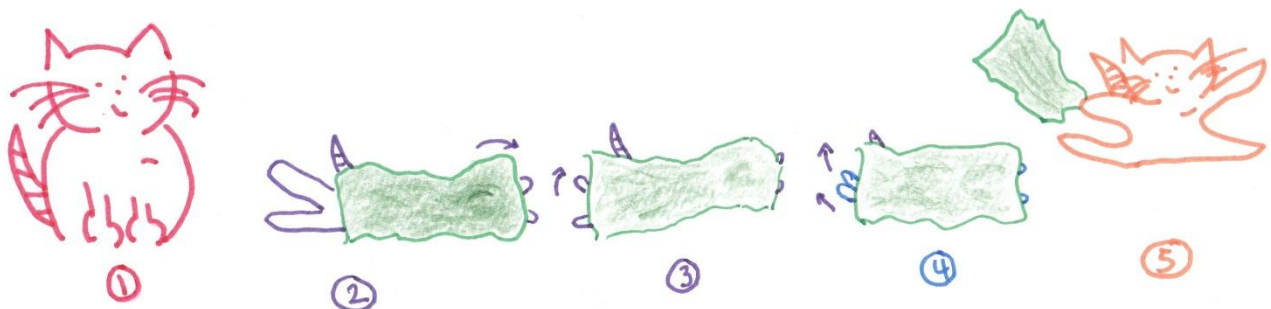
韓国、日本両方に居て両方の人の話を聞くと、物理的な距離や歴史に関わりが強いという事で、全てを知っているという風に話をする人が多い気がする。しかし、偏った情報だけしか判断材料がない状態で正しい判断が可能だろうか。また、複雑な感情が渦巻く中で情報を正確に捉える事が可能だろうか？情報を伝達する手段は近年格段に洗練されたが、人の心や感情が先行してしまい上手く処理しきれていない感を感じる。ニュースやネットで入ってくる情報だけで何かを判断するのではなく、相手の立場やなぜ相手は自分には理解しがたい行動をとるのかというような、肉感のある相手と対峙する感覚をしっかりと感じながら判断していく必要があると感じた。

つまり、相手の立場を想像出来る想像力を鍛えていかなければ独断的な行動をとってしまうようになるのではないかと、反対にそれが出来れば現在よりも少し平和な関係に近づくのではないかと思う。相手を理解する事は短時間で出来るような単純なものではないように思う。だからこそ、めまぐるしく変わる状況の中で、情報に振り回されずに冷静に、そして情報の向こう側に居る相手を想像して判断する努力をしていく事を 2014 年の一つの目標にしていきたい。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 68

今月のテーマはお布団の中でポガ！



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. では、お布団に戻って、腹ばいになりましょう。次に、背中の毛布を肩から上へひっぱりあげましょう。
あら！足が出てしまいました。
3. 足だけで毛布をひっぱり、足を毛布の中に入れましょう。
そして、片足ずつ交互に上げてみましょう。
4. 両足を同時上げるのはいかが？ 難しければ、仰向けでやってみましょう。
5. できましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？ 毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。



一緒にいかが？

次回のポ一会 2月28日(金) 神戸YMCA 19:00～

2014. 2. 22 ポーポキのミニ平和映画祭！ 神戸YMCA 301 13:00～16:00

日時：2014年2月22日(土) 13:00～17:00

場所：神戸YMCA 三宮会館 Rm.301

参加費：無料 (YMCA 国際協力募金活動にご協力願います)

主催：ポーポキ・ピース・プロジェクト、神戸YMCA、神戸YWCA

プログラム

パート1

- 13:00 「ピースマシンの旅～東京・ゲルニカ・重慶 編」17分 音声:日本語・字幕:英語
岩波 DVD ブック『東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を学ぶ』(岩波書店 2010)
- 13:40 “Living Along the Fenceline” グアムの部分のみ 10分 音声:英語・字幕:日本語
Gwyn Kirk & Lina Hoshino 監督 www.alongthefenceline.com

パート2

- 14:10 「9条を抱きしめて～元米海兵隊員 アレン・ネルソンが語る戦争と平和」
(アレン・ネルソン平和プロジェクト 2013)50分 音声:日本語

ちょっと気分転換

- 15:30 「ワン・マン・バンド」アニメ「ピクサー・ショート・フィルムより」5分 無言

パート3

- 15:45 「標的の村」(ダイジェスト版)三上知恵監督 沖縄県、特に高江地区の苦しみと闘い
<http://www.hyoteki.com/> 50分 音声:日本語

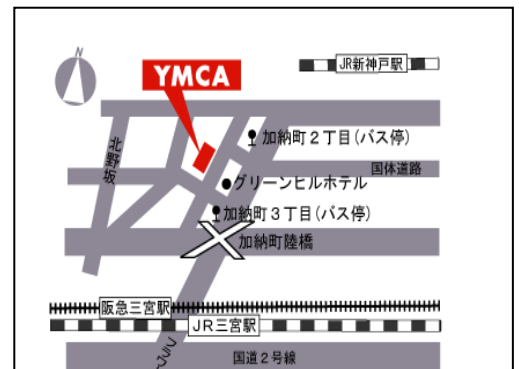
お問い合わせ・お申し込み

神戸YMCA国際・奉仕センター (担当：永井)

〒655-0001 神戸市中央区加納町2-7-15

TEL (078) 241-7204

e-mail houshi@kobeymca.org



ポーポキの友だちからのご案内

2014年2月1日(土) 神戸YWCA からの案内 上映会 映画「シェーナウの想い」。

会場 13:30～ 上映 14:00～15:00 フリートーク～17:00 場所:神戸学生青年センター
会場費:500円

2014.2.25 神戸YMCA からの案内 神戸YMCA 憲法を知る集い Vol.2 教えて、きほんの“き”
『憲法のこころ』 19:00-20:30 神戸YMCA 三宮開会 無料 申し込み先 神戸YMCA 国際・
奉仕センター 078-241-7204 houshi@kobeymca.org

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8 面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22 面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4 面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1 面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29 面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「ポーポキ、平和って、なに色?」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組 CH の 6CH をクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面





私たちにとってのポーポキ

2014 年 1 月 廣瀬 献児・頼子

私たちが結婚してから1年ほど経ちました。振り返ってみると、いろんな平和の色が増えたなと思います。その色たちの中には、それ以前には平和を感じなかった色も、平和の中に混ざっているようです。

どのようにして新しい平和の色は増えたのかな？それまでは平和と思わなかったのに・・・

ひとりでいるときは、自分の思い通りにならないことは何でも、なんだかいやだな、平和じゃないなと思いがちだったかもしれません。がんばらなくちゃ！と気持ちに無理を強いていて、平和じゃないなと思っていたこともあるかもしれません。平和じゃないと思ったことは、自分からできるだけ遠いところにいるように、していたのかもしれませんがね。

ふたりでいるようになると、思い通りにならないことでも、がまんする理由ができやすくなって、まあまあいいかなと思って付き合っていると、平和がひょっこり顔を出すことが出てきました。「気持ちに無理しないで、十分がんばっているよ、のんびりでいいよ」とそばで教えてくれると、しんどい気持ちの中にも平和が少し増えたようにも感じます。

家族や友だちは、自分の平和の色を増やしてくれる存在なのかなと思います。そしてそのつながりが深ければ深いほど、平和なんて無いと思っていたところに、それまで気付けなかった平和を見つけることを助けてくれるのではないかなと思います。もしも誰かの平和の色が増やす手伝いできていたら、そうすることができるつながりが少しでも増やしていけたらいいですね。



さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!